

2026年度

展覧会スケジュール

◆ 開館時間

午前9時～午後5時 ※入館は閉館時刻の30分前まで

◆ 休館日

月曜日(休日の場合は開館) / 年末年始(12月28日～1月4日)

※臨時に休館・開館することがあります。

◆ 観覧料

一般……………300円(団体:200円、年間パスポート:1,030円)

高校生・大学生・65歳以上 ……150円(団体:100円、年間パスポート:510円)

小学生・中学生……………100円(団体:50円、年間パスポート:300円)

※障害者手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は半額になります。※団体は20名以上。

※展覧会により観覧料が異なる場合があります。



◆ 交通案内

● 電車をご利用の場合

東武アーバンパークライン(野田線)

「岩槻駅」から徒歩約10分

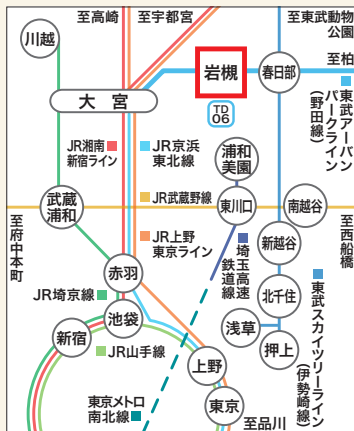
※大宮駅から岩槻駅までの所要時間は約12分です。

● 車をご利用の場合

東北自動車道「岩槻IC」出口から

約5.5km、車で約12分

※駐車場は、普通自動車用28台、車いす用2台、乗降スペースは、大型バス用2台分があります。なお、にぎわい交流館いわつきとの共用です。



岩槻人形博物館
IWATSUKI NINGYO MUSEUM

〒339-0057 埼玉県さいたま市岩槻区本町6-1-1

Tel.048-749-0222 Fax.048-749-0225

<https://ningyo-muse.jp/>

このリーフレットは20,000部作成し、1部あたりの印刷経費は10円です。



HPはこちら



Instagramはこちら



特集
展示

創作人形展 ～作家の手がつくる、かたち～

2026 4.25 [土] - 6.28 [日]

昭和時代初期以降、芸術として認められるに至った“創作人形”。本展では、当館のコレクションのなかから、多様な作家の作品を紹介し、個々の作家が追求した、独自の表現による創作人形の魅力をご覧ください。



「夢」 平田郷陽 昭和8年(1933)

2026年度 展覧会スケジュール

04 — 05 — 06 — 07 — 08 — 09 — 10 — 11 — 12 — 01 — 02 — 03

企画展 人形マジカル・ワールド(仮)

2026 7.18 [土] - 9.6 [日]

信仰と深く結びついた日本の人形文化。人々のさまざまな思いから、いくつものカタチが生まれてきました。昔の人たちは、人形に何を祈り、どんな願いを託したのでしょうか。現代からすると、少し奇妙にも思える、人形にまつわる不思議な世界を紹介します。



犬宮 江戸時代

常設展

埼玉の人形作り 展示室1 コレクション展示 日本の人形 展示室2

常設展示の展示室1・2では定期的に展示替えをし、当館のコレクションを紹介しています。



人形作りの様子(面相描き)

衣裳人形 唐子遊 江戸時代

特別
企画展

辻村寿三郎人形作品展(仮)

2026 9.19 [土] - 12.6 [日]

日本を代表する人形作家である辻村寿三郎(1933～2023)。その独創的で妖艶な人形は、NHKの人形劇で脚光を浴びて以降、多くの人々を魅了し続けています。広島県三次市にあるアトリエジュサブロー・辻村寿三郎人形館の協力により、大回顧展を開催します。



きりしんしん 2023
「麒麟獅子節の寿」(部分) 辻村寿三郎
平成21年(2009) 辻村寿三郎人形館蔵
画像提供: NHKエンタープライズ中部

企画展

にんばくの雛祭り ～お雛さまのよそおい～(仮)

2027 1.23 [土] - 3.22 [月・休]

幾重にも衣を重ねたゴージャスな女雛、シックにきめた男雛、リンクコーデの五人囃子など、さまざまな衣装を身にまとった人形たち。にんばく恒例の雛祭り展、今回はお雛さまのよそおいに注目し、装束の様式や文様に込められた意味を紹介します。

※「にんばく」は、さいたま市岩槻人形博物館の愛称です。



天野家雛段 大正～昭和時代

第33回 伝統工芸人形展 展示室3 ※予定

2026 12.12 [土] - 12.25 [金]

当館におけるはじめての全国公募展として、日本工芸会との共催により開催します。

「玉辞邪」中村信喬 令和7年(2025) 個人蔵
第32回伝統工芸人形展 文部科学大臣賞受賞

